

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	詳細点検
事務事業名	軽費老人ホーム等事務費補助	シート番号	A 一般事務事業 11-085
担当部署名	健康福祉 局 長寿社会 部 地域包括ケア推進 課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無	
	2	事業開始年度	平成 8 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	老人福祉法、堺市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	軽費老人ホームは老人福祉法第5条の3に規定する老人福祉施設であり、同法第20条の6で、「無料又は低額な料金で居室等の提供と日常生活に必要な便宜(食事の提供等)を供与する施設」と定義されている。利用料金の上限は法令で低く抑えられており、運営に必要な経費の一部を補助することで制度の維持と低所得の入居者の保護を図っている。本市においては中核市移行に伴い平成8年から事業を開始した。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	軽費老人ホーム等を運営する社会福祉法人等			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	軽費老人ホーム等を運営する者に対し、補助金を交付することにより、軽費老人ホーム等を利用する高齢者の利用料の負担軽減を図る。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	軽費老人ホーム(運営法人)の運営法人は、法令で定められた範囲内で入所者の所得に応じた低廉な利用料金を徴収しており、運営に必要な経費の一部について、堺市から補助を行うもの。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 社会福祉法人 さつき会 外10法人				

Ⅲ. 投入量

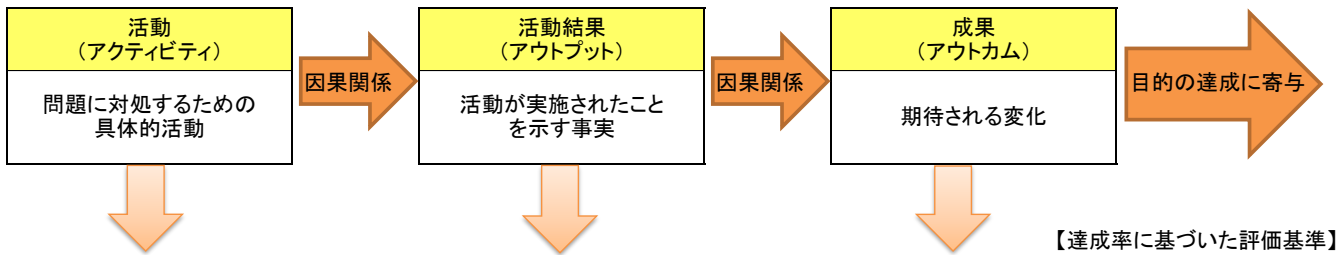
		項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	372,545	372,292	375,026	369,014	
		主な事業費内訳	軽費老人ホーム事務費補助金	千円	372,545	372,292	375,026	369,014
				千円				
				千円				
				千円				
		財源内訳	国・府支出金	千円				
			受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
			市債	千円				
			その他()	千円				
			一般財源	千円	372,545	372,292	375,026	369,014
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,620		
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	374,185	373,932	376,666	370,634		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	軽費老人ホーム等事務費補助	シート番号	11-085
-------	---------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>平成30年度も引き続き、軽費老人ホーム等を運営する社会福祉法人等11か所に施設運営に要する経費の一部を補助金として交付した。軽費老人ホームは低廉な料金でサービスを提供している施設の性格上、所得が低く家族等による援助を受けることも困難な入居者が多いが、当該補助金を交付した結果、多くの入居者(11施設で約500人)が、食事の提供、入浴等の準備、相談・援助、社会生活上の便宜の給与、その他の日常生活上で必要なサービスの提供を受けることができ、入居者の安心できるいきいきとした明るい生活につながった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		市内経費老人ホーム入居者数	人	目標値	515	515	515	515
				実績値	497	491	498	
				達成率	97%	95%	97%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		年度末時点の定員数に対する入居者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		補助件数	件	目標値	11	11	11	11
				実績値	11	11	11	
				達成率	100%	100%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		補助申請に対する補助件数					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>軽費老人ホームを運営する法人に対して補助金を交付することにより、定額な利用料金を維持することができ、ほぼ全室入居となっている。高齢者の住まい確保に対するニーズの高さが背景にあると考える。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。